

5 文や文章の中で読ませる指導について (2年)

<p>【板書事項】</p> <p>人は昔から、いろいろな道具をはつ明 してきました。</p> <p>鳥のように空を飛びたいという思い から、ひこうきが発明されました。</p> <p>人間には、二本の足があり、それを つかってじゆうに歩くことができるし、 いそいでいるときには、走ることもで きます。</p> <p>車や自転車をつかつて自由にべんり です。</p>		
<p>【指導の流れ】</p> <p>1 「この文章を目で読んでみましよう。全部読めま したか。まは からの漢字は一年生でわか 習いものも二年生以上で勉強するものです。でも 前後の意味のつながりから、予想して読むことがで きるかも知れません。」</p> <p>「は 発明してきた」とあるので、発明するも の「考へましよう」「 こ「ひこう」かな。」</p> <p>2 「正解です。そうすると、はこうでしよう。」</p> <p>「こ「ひこう」とあるので、「むかし」かな。」</p> <p>3 「正解。次に、を予想して読んでみましよう。 は送り仮名をヒントにしましょう。」</p> <p>「発表」の中に使われる漢字が入っていま すよ。」</p> <p>「空を」とひたいと飛行機が「はつめいされ た。」</p> <p>「こ「は」人と同じ意味の「にんげん」だ。」</p> <p>4 「正解。次に、が読める人は手を挙げてくださ い。」</p> <p>「こ「あへん」「はしる」かな。」</p> <p>5 「正解です。どうやって分かりましたか。」</p> <p>「こ「足で歩いたり走ったりするからです。それ と送り仮名をヒントにしました。」</p> <p>6 「よく気が付きましたね。文の中での意味や、前 後ろとのつながりを考えると読めるんですね。 では、同じように、も読んでみましよう。」</p> <p>「こ「車と同じように便利なものだから、」しててし 「ま」だ。」</p> <p>7 「そうです。車と「こ」は「こ」も読みま す。」</p>		
	<p>【留意点】</p> <p>1 未習の漢字や、思い出せない既習漢字を文章の 中で読む工夫について考えさせる。</p> <p>2 文の前後のつながりから推測させる。</p> <p>3・4 ほかの読み方(音読み 訓読み)や、漢字 の意味などから推測させる。</p> <p>5 送り仮名があるときは、それを手がかりにし せる。</p> <p>誤った予想や類似の読み方をした場合 は、その発言を手がかりとして考えら れるよう児童に返していく。</p>	